

もの言う牧師のエッセー 第65話

「愛される松井選手」

日米通算2643安打、507本塁打の記録を残し、松井選手がついにバットを置いた。彼はかつて巨人時代に、恩師である長嶋茂雄監督から「ディマジオのようにみんなに愛され、夢を与えられる選手を目指しなさい」と言われたことがある。

なるほどマリリン・モンローと結婚したことで知られる往年のヤンキースの名選手ジョー・ディマジオは、その選手としての実力に加え、グラウンドでの態度やファンへの誠実な対応、自分を厳しく律する生き方が野球選手の鑑とされ、今でもアメリカ人に愛される英雄であるが、今振り返ると、松井選手は優れてその道を歩き通したのではあるまいか。

彼が2010年にエンジェルスへ移籍後初めて再訪したヤンキースタジアムにおいて受けた5万人のスタンディングオベーションと、チームメイトらによる熱い抱擁が懐かしい。元同僚のデレク・ジーターは言う。「彼が考えているのはチームが勝つこと、まさしくプロだ」。松井を担当した代理人アーン・テレム氏は言う。「かなりの慈善家で、社会的に自分の置かれた立場を理解しているまれなスーパースター、私にも要求以上の手数料を払ってくれた」。辛口で知られる野村克也氏は言う。「常にどのマスコミにも分け隔てなく対応しており、人格的に素晴らしい」。そうなのだ。彼が愛されたのは、彼がチームを愛し、ファンを愛し、マスコミを愛し、人を愛したからなのだ。

「私があなたがたを愛したように、あなた方も互いに愛し合うこと、これが私の戒めです。」

ヨハネの福音書 15章 12節

と、キリストは我々が愛し合うことの重要性を説いているのは正にこのことだ。そして神自身がまず人類の為に、十字架の死と復活を通してその愛を实践された。我々もまた神を愛し、人を愛そう。

2013-1-31

